

日本研究・知的交流事業に必要な経費

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究調査〔アジア・大洋州〕
- (2) 東南アジア元日本留生活動支援
- (3) 北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学）
- (4) 北京日本学研究センター派遣（北京大学）
- (5) 北京日本学研究センター招へい（北京外国語大学）
- (6) 北京日本学研究センター招へい（北京大学）
- (7) 北京日本学研究センター研究支援（北京外国語大学）
- (8) 北京日本学研究センター研究支援（北京大学）
- (9) 日本研究機関支援〔アジア・大洋州〕
- (10) 日本研究組織強化支援（助成）〔アジア・大洋州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者）〔アジア・大洋州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆者）〔アジア・大洋州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（社会科学院研究生院）
- (5) 日本研究フェローシップ（短期）〔アジア・大洋州〕
- (6) 日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）
- (7) 知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕
- (8) 知的リーダー交流（派遣）〔アジア・大洋州〕
- (9) 知的交流フェローシップ（招へい）〔アジア・大洋州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕
- (2) 知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕
- (3) 知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕
- (4) アジア地域研究センター支援（催し等）

4. 文化資料事業費

- (1) 図書寄贈〔アジア・大洋州〕

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究調査 [アジア・大洋州]

世界の主要な地域の日本研究機関調査を実施し、日本研究機関と研究者のディレクトリーを作成する。

合計額 8,743,805 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	中国日本研究調査	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	中国における日本研究機関・日本研究者の現状を把握するため、アンケート調査を行い、分析を行うとともに、データベースを作成
2	韓国日本研究調査	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	韓国における日本研究機関・日本研究者の現状について調査を行い、出版物として刊行

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 東南アジア元日本留生活動支援

元日本留学生の対日理解促進を目的として、ASEAN諸国の元日本留学生協会9団体に対し、集会施設借料等を助成する。

合計額 15,509,894 円

	事業名	対象国	期間
1	元日本留学生フィリピン連盟 (PHILFEJA)	フィリピン	2008.04.01 ~ 2009.03.31
2	シンガポール元日本大学卒業生協会 (JUGAS)	シンガポール	2008.04.01 ~ 2009.03.31
3	インドネシア元日本留学生協会 (PERSADA)	インドネシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
4	マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)	マレーシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
5	東方政策留学生同窓会 (ALEPS)	マレーシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
6	タイ国元日本留学生協会 (OJSAT)	タイ	2008.04.01 ~ 2009.03.31
7	ミャンマー日本留学者協会 (MAJA)	ミャンマー	2008.04.01 ~ 2009.03.31
8	カンボジア元日本留学生同窓会 (JAC)	カンボジア	2008.04.01 ~ 2009.03.31
9	ベトナム元日本留学生会 (JAV)	ベトナム	2008.04.01 ~ 2009.03.31

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (3) 北京日本学研究センター派遣 (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 33,398,882 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	小幡 敏行	横浜市立大学国際総合科学部 准教授	2008/04/01 ~ 2009/03/31	日本側主任教授として北京日本学研究センター運営を行うと共に、「日中文化比較」の講義を担当。
2	畔上 和子	北京日本学研究センター 日本側事務主任	2008/04/01 ~ 2009/03/31	日本側主任教授を補佐し、北京日本学研究センター内日本側事務局の運営業務に従事。
3	安藤 宏	東京大学大学院人文社会系研究科 准教授	2008/06/01 ~ 2008/06/14	北京日本学研究センターにおいて、日本文学の集中講義を担当。
4	池田 玲子	東京海洋大学海洋科学部海洋政策 文化学科 教授	2008/09/05 ~ 2008/10/02	北京日本学研究センターにおいて、言語コースの講義・学生指導を担当。
5	篠崎 美生子	恵泉女学園大学人文学部 准教授	2008/09/07 ~ 2008/10/01	北京日本学研究センターにおいて、文学コースの講義・学生指導を担当。
6	馬場 芳	鳥取大学地域学部 講師	2008/10/05 ~ 2008/11/23	北京日本学研究センターにおいて、社会コースの講義・学生指導を担当。
7	小峯 和明	立教大学文学部 教授	2008/10/06 ~ 2008/11/05	北京日本学研究センターにおいて、文学コースの講義・学生指導を担当。
8	青木 直子	大阪大学大学院文学研究科 教授	2008/12/08 ~ 2008/12/31	北京日本学研究センターにおいて、言語コースの講義・学生指導を担当。
9	細川 英雄	早稲田大学大学院日本語教育研究 科 教授	2009/02/28 ~ 2009/03/20	北京日本学研究センターにおいて、言語教育学コースの講義・学生指導を担当。
10	佐藤 道生	慶應義塾大学文学部 教授	2009/03/11 ~ 2009/04/09	北京日本学研究センターにおいて、文学コースの講義・学生指導を担当。
11	田野村 忠温	大阪大学大学院文学研究科 教授	2009/03/23 ~ 2009/04/21	北京日本学研究センターにおいて、言語コースの講義・学生指導を担当。

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (4) 北京日本学研究中心派遣 (北京大学)

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 4,063,599 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	樋原 伸彦	立命館大学経営学部 准教授	2008.04.06 ~ 2008.04.09	「金融制度」の講義
2	中谷 吉彦	立命館大学COE推進機構 教授	2008.04.13 ~ 2008.04.16	「松下の技術戦略」の講義
3	角南 篤	政策研究大学院大学 准教授	2008.04.20 ~ 2008.04.23	「環境と科学技術」の講義
4	角南 篤	政策研究大学院大学 准教授	2008.09.01 ~ 2009.08.31	日本側主任教授として現代日本研究センター運営等を行う。
5	添谷 芳秀	慶應義塾大学法学部 教授	2008.11.09 ~ 2009.11.11	日本のアジア外交と安全保障 (博士第4期) の講義
6	石 弘之	東京農業大学生物産業学部 教授	2008.11.12 ~ 2009.11.15	日本における環境問題の経験 (博士第4期) の講義
7	原 洋之介	政策研究大学院大学 教授	2008.11.24 ~ 2009.11.27	日本における農業発展と農業経済学の歩み (博士第4期) の講義
8	吉野 直行	慶應義塾大学経済学部 教授	2008.12.09 ~ 2008.12.12	金融論 (博士第4期) の講義
9	堀江 正弘	政策研究大学院大学 教授	2009.03.16 ~ 2009.03.19	「国・地方関係と地方自治」 (博士第4期) の講義
10	永野 博	政策研究大学院大学 教授	2009.03.22 ~ 2009.03.25	科学技術政策 (博士第4期) の講義

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (5) 北京日本学研究中心招へい (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 38,520,630 円

	事業名	氏名	現職	参加人数	受入機関	期間	事業内容
1	07年度現地博士フェロー	白 暁光	北京日本学研究中心 博士課程	1	独立行政法人国立国語研究所 日本語教育基盤情報センター	2007.04.08 ~ 2008.04.07	北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与。
2	07年度選任スタッフフェロー	施 建軍	北京日本学研究中心 教授	1		2008.02.12 ~ 2008.06.11	北京日本学研究中心専任スタッフに対し、研究能力向上のため日本での研修を行う。
3	修士第22期生訪日研究	修士課程学生	北京日本学研究中心 修士課程第22期生	23		2008.03.27 ~ 2008.07.31	北京日本学研究中心修士課程の学生に対し、論文草稿作成・資料収集のための訪日研究を実施。23名が個別に日本の大学・研究機関等に在籍。
4	08年度現地博士フェロー	李 珍	北京日本学研究中心 博士課程	1	大阪大学大学院 文学研究科	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与。
5	08年度現地博士フェロー	梁 爽	北京日本学研究中心 博士課程	1	創価大学	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対して、博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与。
6	修士第23期生訪日研究	修士課程学生	北京日本学研究中心 修士課程第23期生	20		2009.03.30 ~ 2009.08.04	北京日本学研究中心修士課程の学生に対し、論文草稿作成・資料収集のための訪日研究を実施。20名が個別に日本の大学・研究機関等に在籍。

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (6) 北京日本学研究中心招へい (北京大学)

北京大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 11,107,293 円

	事業名	参加人数	期間	事業内容
1	博士第3期生訪日研修	24	2008.05.14 ~ 2009.05.28	北京大学現代日本研究センターの講座受講生（第3期博士課程20名、その他随行4名）に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施。
2	博士第4期生訪日研修（招へい準備）	24	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京大学現代日本研究センターの講座受講生（第4期博士課程20名、その他随行4名）に対して、北京で受けた講義の定着を目的に実施する訪日研修の準備。

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (7) 北京日本学研究中心研究支援 (北京外国語大学)

北京外国語大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 18,140,066 円

	事業名	期間	事業内容
1	現地経費 (教育・研究)	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心が発行する紀要「日本学研究」ほか日本研究図書出版、研究プロジェクト及び同センター教授による地方講演にかかる経費等の支援。
2	教材等購送	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心に対し講義用教材、図書館資料を購送。
3	文献複写	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心図書資料館が日本国内の図書館に対して文献複写依頼を行う経費を支援。
4	図書館システム	2008.11.26 ~ 2009.03.31	北京日本学研究中心図書資料館で使用中の図書館情報システム・ソフトウェアの移設および保守管理に係る経費の支援。

1. 日本研究事業費 / (8) 北京日本学研究中心研究支援 (北京大学)

北京大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 352,420 円

	事業名	期間	事業内容
1	教材等購送	2008.04.01 ~ 2009.03.31	北京大学現代日本研究センターに対して講義用教材、図書館資料を購送。

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (9) 日本研究機関支援 [アジア・大洋州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、当該国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 73,784,450 円

	機関	対象国	期間	事業内容
1	ソウル大学校	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ソウル大学校日本研究所が実施する日本専門家によるセミナー開催、訪日研修(学部生)、訪日資料調査(大学院生)、図書拡充の4事業に対して支援
2	高麗大学校	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	高麗大学校日本研究センターに対し、人文科学系の図書を寄贈
3	全南大学校	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	全南大学校日本文化研究センターが実施する国際学術シンポジウム「韓国人は日本をどうみてきたか」の開催経費支援と、研究図書の寄贈
4	東北師範大学	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	東北師範大学日本研究所が実施する客員教員(日本及び中国)による集中講義、学術書出版、定期学術誌「日本学論壇」の刊行、大学院生訪日調査などを支援
5	南開大学	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	南開大学日本研究院が実施する客員教員による集中講義、大学院生訪日調査などを支援
6	浙江工商大学	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	浙江工商大学日本文化研究所が実施する国際会議「東アジア文化交流—人物往来の研究」、調査事業「四庫全書(集部)における日本史料」の収集と整理、大学教員研修、学術書出版を支援するとともに、研究図書を寄贈
7	遼寧大学	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	遼寧大学日本研究所に対し研究図書を寄贈。また同研究所が所蔵する日本研究関係資料(古文書)の修復経費を支援
8	復旦大学	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	復旦大学日本研究センターが実施する国際会議「直接投資・技術移転と地域協力」、学術書出版などを支援するとともに、研究図書を寄贈
9	四川外語学院	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	四川外語学院が実施する国際会議「詩人黄瀛と多文化間アイデンティティ」の開催を支援するとともに、研究図書を寄贈
10	南開大学(評価)	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	2005(平成17)年度~2007(平成19)年度の3カ年の国際交流基金支援事業について、外部の専門家を派遣し評価を実施

アジア・大洋州交流事業費

	機関	対象国	期間	事業内容
11	社会科学院研究生院	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	社会科学院研究生院の日本研究関連博士論文集「日本問題研究博士論叢」の出版助成。
12	モンゴル国立大学	モンゴル	2008.04.01 ~ 2009.03.31	モンゴル国立大学が日本の研究者と共同実施する「日本語言語及び歴史・文化・経済・政治リンクの総合研究」を支援するとともに研究図書を寄贈
13	インドネシア大学（大学院日本地域研究科）	インドネシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア大学大学院日本地域研究科の修士・博士課程運営経費の支援と、客員教授2名の派遣を実施
14	インドネシア大学（日本研究センター）	インドネシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシア大学日本研究センターが実施する国際シンポジウム「日本に学ぶ：インドネシアの都市交通の新しい可能性を求めて」の開催支援
15	タマサート大学（大学院日本研究科）	タイ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	タマサート大学大学院日本研究科に対し、客員教員の謝金助成、大学院生訪日研修への支援、研究図書の寄贈を実施
16	タマサート大学（東アジア研究所）	タイ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	タマサート大学東アジア研究所による日本研究ジャーナル（紀要）の発行支援
17	チュラロンコン大学	タイ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	チュラロンコン大学文学部東洋言語学科（日本語学・日本文学専攻修士課程）に対し、大学院生訪日研修実施を支援するとともに、客員教授を派遣
18	アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	アテネオ・デ・マニラ大学（社会科学部日本研究プログラム）が実施する国際会議「アジアにおける紛争の表象と歴史の創造」の開催支援及び研究図書の寄贈
19	フィリピン大学アジアセンター	フィリピン	2008.04.01 ~ 2009.03.31	フィリピン大学アジアセンターが実施する国際会議「世界と東アジアにおける日比外交」への開催支援と研究図書の寄贈
20	ハノイ国家大学人文社会科学大学	ベトナム	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ハノイ国家大学人文社会科学大学（東洋学部日本学科）が実施する日本学集中講座の実施支援
21	貿易大学	ベトナム	2008.04.01 ~ 2009.03.31	貿易大学（ハノイ校）に対し客員教授を派遣
22	マラヤ大学	マレーシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	マラヤ大学（人文社会科学部東アジア研究学科）が実施する調査研究事業2件を支援
23	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ジャワハルラル・ネルー大学（日本・韓国・東アジア研究科）が実施する教員セミナー「インドの日本語教育における文字テキストの役割」開催支援、客員教授の派遣、研究図書の寄贈を実施

アジア・大洋州交流事業費

	機関	対象国	期間	事業内容
24	デリー大学	インド	2008.04.01 ～ 2009.03.31	デリー大学（東アジア研究科）に対し客員教授の派遣、研究図書の寄贈を実施
25	オーストラリア国立大学	オーストラリア	2008.04.01 ～ 2009.03.31	博士課程学生及び若手研究者向けの集中研修事業への支援

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (10) 日本研究組織強化支援 (助成) [アジア・大洋州]

国境・学問分野を越えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 10,595,660 円

	機関	対象国	期間	事業内容
1	大韓日語日文学会	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	韓国の5つの日本研究関連学会の上部組織である韓国日本学連合会の定期学会。2008年7月10～12日に、釜山外国語大学において「日本学における日本語教育学の位置」というテーマで実施
2	インドネシア日本研究学会	インドネシア	2008.11.01 ~ 2008.11.02	インドネシアと日本の学術協力、日本と世界等4つのテーマで実施した日本研究国際シンポジウム。 日・インドネシア国交樹立50周年記念行事実行委員会が主催した合同学術シンポジウムのうち「人文社会・政治学における日本研究」のセッションという位置づけで実施
3	タイ日本研究ネットワーク	タイ	2008.04.01 ~ 2009.03.31	タイ全土から選抜された日本研究者による研究発表会、翌年度年次学会の準備、WEBサイト・ディレクトリーの更新を実施
4	ハノイ国家大学人文社会科学大学	ベトナム	2008.04.01 ~ 2009.03.31	ベトナム国内の日本研究者が一堂に会し、ベトナムにおけるこれまでの日本研究の成果と課題について共有・討議し、今後の日本研究の発展のための方向性や取り組みを展望する会議を実施
5	香港大学日本研究科	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日本語教育及び日本研究関連のコースが開講されている香港の大学関係者のネットワークである香港日本語教育研究会の研究大会を実施

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

国際交流基金の業務趣旨に合致する日本研究・知的交流分野の事業を外部から受託し実施する。

合計額 83,190,566 円

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	JENESYS 東アジア大学院生日本研究特別招へいプログラム	YUEN, Shu Min	シンガポール国立大学日本研究学科 助手	シンガポール	東京大学大学院総合文化研究科	2008.05.02 ~ 2008.08.08	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。アジア・大洋州地域で日本研究 (東アジア研究を含む) を専攻中の、今後の活躍が期待される大学院生に対し、1~3カ月間にわたり日本の大学院・研究機関等で研究・調査活動を行う機会を提供。
		PURNOMO, Rowsalind	シンガポール国立大学日本研究学科 修士課程	シンガポール	日本女子大学	2008.05.11 ~ 2008.08.08	
		BENNETT, Alexander Campbell	カンタベリー大学現代言語学部 博士課程	ニュージーランド	国士舘大学	2008.05.28 ~ 2008.08.27	
		NEW NI AYE	ヤンゴン大学 歴史学部 講師	ミャンマー	岡山大学アジア歴史学部	2008.06.09 ~ 2009.09.09	
		PHAM, Hoang Hung	ハノイ国家社会科学・人文科学大学東洋学部日本研究学科 教員	ベトナム	早稲田大学文学芸術院	2008.06.15 ~ 2008.09.11	
		POBSAMAI, Natthapong	チュラロンコン大学経済学部 大学院生	タイ	大阪大学経済学研究科	2008.06.15 ~ 2008.09.14	
		HJ. SAIM, Salwah	シティーバンク銀行国際金融部門マネージャー	ブルネイ		2008.06.17 ~ 2008.07.20	
		WHITNEY, Justin Robert	オーストラリア国立大学アジア太平洋研究学部 日本センター 博士課程	オーストラリア	早稲田大学 国際教養学部	2008.07.01 ~ 2008.08.29	
		SANI, Audriane Ferdiani	インドネシア大学大学院社会学専攻 大学院生	インドネシア	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科	2008.07.05 ~ 2008.09.05	
		MAHER, Sasha	オークランド大学経営・国際ビジネス学科	ニュージーランド	上智大学	2008.07.21 ~ 2008.09.20	
		AUNGTRAKUL, Atchara	ナレースワン大学人文学部日本語学科 講師	タイ	国際交流基金 日本語国際センター	2008.07.27 ~ 2008.09.10	
	LIEW, Nyin Tet	Chong Hwa高校 教員	マレーシア		2008.07.28 ~ 2008.10.25		
	TAN, Swee Ean	マレーシア科学大学地理学部 人文学科 助手	マレーシア		2008.07.29 ~ 2008.10.28		

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
		DANG, Thi Hoai	ホーチミン市教育大学 講師	ベトナム	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科	2008.07.30 ~ 2008.10.28	
		KAUSHIKI, Nishtha	ジャワハルラル・ネルー大学 日本研究学科 東アジア研究センター 研究生	インド	法政大学大学院環境マネジメント研究科	2008.07.30 ~ 2009.10.29	
		DUGAY, Mary Christine Pesigan	デ・ラ・サール大学国際研究学 科 修士課程	フィリピン		2008/07/31 ~ 2008.10.30	
		Ocaya, Raissa Faye Ozaraga	フィリピン大学 社会科学・哲学 部社会科学 修士課程	フィリピン		2008/07/31 ~ 2008.10.30	
		ENVERGA, Hansen Manuel Constantino Iwan Setiya Budi	デ・ラ・サール大学国際研究学 科 修士課程 ディアン・ヌスワントロ大学文学部日本語学科 講師	フィリピン インドネシア	早稲田大学大学院日本語教育研究科 上越教育大学	2008.07.31 ~ 2008.10.30 2008.07.31 ~ 2008.10.31	
		BOUNLAVONG Sengsadon	ラオス国立大学 経済・経営学部 講師	ラオス	広島大学	2008.07.31 ~ 2008.10.31	
2	JENESYS 次世代リーダー招へいプログラムグループA	YU, Xiaomin SENG, Hun WIDAYANI, Ida EDMUND, Ng Hoi Pin KETUNUTI, Vipunjit FONBUENA, Carmela MUSDI, Zasika	北京師範大学 講師 名古屋大学大学院法学研究科 博士課程 インドネシア経営者連盟地域エンパワーメント・国際関係課 課長 シンガポール全国労働組合評議会 建築・林業組合シニア産業担当オフィサー 国際移住機関プログラム・マネージャー ニューズ・ブレイク誌 記者 Borneo Bulletin 新聞社 記者	中国 日本 インドネシア シンガポール タイ フィリピン ブルネイ		2008.07.17 ~ 2008.07.27	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループAのテーマは「アジア大洋州地域におけるヒトの移動～送出国―受入国及び当事者自身の利益を目指して」。

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
		HUNG, Nguyen Trung	労働社会研究所 研究員	ベトナム			
		MALIAMAUV, Katrina Jorene	TENAGANITAプログラムオフィサー	マレーシア			
		WIN, Khin Thida	ミャンマー連邦 商工会議所連合 スタッフ・オフィサー	ミャンマー			
		THAMMAVONG, Douangsy	労働社会福祉省 国際協力課 課長補佐	ラオス			
		AHMED, Kazimuddin	Panos South Asia アシスタント・プログラムマネージャー	インド			
		DALEY, Peter	オーストラリア 政府移民局政策プロジェクト課 戦略政策グループ	オーストラリア			
		PARASNIS, Jaai	アシスタント・ディレクター モナシユ大学 講師	オーストラリア			
		WILLIAMS, Emma Joy	RSVPプロダクションズ 研究員兼ディレクター	ニュージーランド			
3	JENESYS 次世代リーダー招へいプログラム グループB	LIN, Lan	上海社会科学院 都市化研究センター リサーチ・フェロー	中国		2008.07.29 ~ 2008.08.07	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。 グループBのテーマは「文化によるまちづくり：クリエイティブ・シティの可能性」。
		KEO, Sar	Chief of Cadastral Office Affair, Cadastral Office Affair, Siem Reap Provincial Hall	カンボジア			

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
	KLINKAJORN, Karin	King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang (KMITL), Department of Urban and Regional Planning 講師	タイ			
	ZAPANTA-BATATE, Maria Silvana	Secretary, Neo-Angono Artists Collective	フィリピン			
	IDRIS, Zul' Amali	Arkitek Idris シニアアーキテクト	ブルネイ			
	VO, Dang Phong	Chief of Relics Restoration Division, Hoi An Center for Monuments Management and Preservation	ベトナム			
	PANG, Khee Teik	The Annexe, Central Market アーツプログラムディレクター	マレーシア			
	Than Htike Oo	Myanmar Consolidated Media 記者	ミャンマー			
	PHETSIENGDA, Saysana	Housing and Town Planning Division, Department of Public Works and Transport, Vientiane Capital アカデミック・オフィサー	ラオス			
	AMUJURE, Vijaya	INTACH (Indian National Trust for Art and Cultural Heritage) 文化保存建築家	インド			

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
		COTTER, Leanne	Green Room & Student Tix Coordinator, Adelaide Festival Centre, South Australia	オーストラリア			
		KIM, Jang Un	光州ビエンナーレ2008キュレーター	韓国			
		LEE, Young Mi	The Hope Instituteフェロー	韓国			
		NELSON, Sarah Margaret	New Zealand Planning Institute 政策アドバイザー	ニュージーランド			
4	JENESYS 次世代リーダー招へいプログラムグループC	KIM, Seonyeong	失業克服国民財団青年事業チーム 職員	韓国		2008. 12. 09 ~ 2008. 12. 19	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。グループCのテーマは「社会包摂的アプローチにおける貧困の克服～グローバル経済におけるアジア・大洋州地域の現状」。
		LI, Jing	北京師範大学社会開発公共政策学部 戦略企画アドバイザー	中国			
		SHOBIRIN, Ahmad M. Si	インドネシア社会省企画部NGO協力課長	インドネシア			
		WISBEN, Arde	ソーシャル・ワーカー・プラクティス・リソース・センター ソーシャルワーカー	インドネシア			
		CHHUN, Chhim	カンボジア開発資源研究所リサーチアシスタント	カンボジア			
		ALI, Norhayati Binte Mohammad	ムンダキ財団プログラム・マネージャー	シンガポール			
		LUANSANG, Chawanad	オープンスペース・コミュニティー・アーキテクト主宰	タイ			
		CRUZ, Mark Lawrence B.	Gawad Kalinga ナショナル・コーディネーター	フィリピン			

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
		GANI, Sandra Puliran RSW	CFSIシニア・コミュニティ・ オーガナイザー	フィリピン			
		AMIT, Haji Mohammad Sofian	文化・青年・ス ポーツ省青年・ スポーツ局職員	ブルネイ			
		Bin Haji DANG, Huong, Giang	アクション・ フォー・ザ・シ ティ 代表	ベトナム			
		KOYA, Latheefa Beebi	Messrs Daim & Gamacy法律事務 所 弁護士	マレーシア			
		LAI, Wan Teng	マレーシア科学 大学女性開発研 究センター講師	マレーシア			
		HTET, Myo Tha	7 Day News Journal紙 副編集長	ミャンマー			
		VANXAY, Souvannamethy	ラオス社会保険 機構 次長	ラオス			
		SINHA, Minati	インド・リハビリ テーション協議 会 研究員	インド			
		ALY, Waleed	モナシュ大学 政治社会学科 講師	オーストラリア			
		DE VRIES, Alaina Jay	家族・住宅・コ ミュニティサー ビス・先住民省 課長	オーストラリア			
		STARRENBURG, Caleb	ジャーナリスト	ニュージーラン ド			
5	JENESYS 次世代 リーダー招へい プログラム グループD	JEONG, Narae LI, Jing PATUNRU, Arianto A.	韓国環境運動連 合コーディネー ター China Daily記者 Institute for Economic and Social Change アソシエート ディレクター	韓国 中国 インドネシア		2009. 03. 03 ~ 2009. 03. 14	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として 実施。東アジアコミュニティの異なる 国々の若者が一堂に会し、寝食を共に しながら文化的背景などの差異を乗り 越えて、地域に共通の課題について話 し合い、思索する訪日研修を実施し、 その成果をグループ発表。 グループDのテーマは「《生物多様

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
	CHANN, Rithy	Quality Engineer, Pasteur Institute of Cambodia	カンボジア			性》を通じた環境保全ー持続可能な発展を目指して」。
	JEREMY, Ang Eng Hu	National Park Board, Conservation オフィサー	シンガポール			
	SUKPONG, Petchrung	International Unions for Conservation of Nature プロジェクトオフィサー	タイ			
	OLIVEROS, Vincent John D.	Palawan Conservation Corps 修復コーディネーター	フィリピン			
	ZAINAL, Norkhatijah Binti Haji	University of Brunei Darussalam 修士課程学生	ブルネイ			
	QUAN, Chu Ngoc	農業地方開発省 森林保護部職員	ベトナム			
	UDIN, Saidal	KOPEL Bhd. アシスタントマネージャー	マレーシア			
	HEIN, Haymar	Ministry of Agriculture and Irrigation 副プログラムオフィサー	ミャンマー			
	BOUAHOM, Bounthanom	National Agricultural and Forestry Research Institute 天然資源調査ユニット長	ラオス			
	NAYAK, Bibhu Prasad	Institute for Social and Economic Change 助教授	インド			
	BURTON, Tegan	Department of Environment and Climate Change, NSW 公園保護官	オーストラリア			

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
		KEATING, Rebecca Marney	Department of Sustainability and Environment, Victoria 水中 生物多様性プロ ジェクトオフィ サー	オーストラリア			
		FULLER, Rebekah J. M.	ハワイ大学マノ ア校植物学部 Ph. D candidate	ニュージーラン ド			
6	JENESYS 次世代 リーダー招へい プログラム第1 回(報告書)					2008. 04. 01 ~ 2009. 03. 31	2007年12月に実施したJENESYS次世代 リーダー招へいプログラム第1回目 (テーマ「東アジアの異なる文化・社 会・宗教間対話」)の報告書作成・配 布及び増刷。同プログラムは「21世紀 東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環。

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (学者・研究者) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 96,754,917 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	YAP, Yuet Ngor	翻訳家	マレーシア	東京大学大学院 人文社会系研究 科・文学部	2007.05.26 ~ 2008.05.25	村上春樹のマレーシア、シンガポールにおける受容に関する研究
2	PHAR, Kim Beng	ダマンサラウタ マ・カレッジ 上級専任講師	マレーシア	早稲田大学アジ ア太平洋研究科	2007.05.31 ~ 2008.05.30	日本と中国におけるソフトパワーの形態と要素の分析的 解釈
3	KYAW, Daw Mi Mi	SEAMEO-CHAT リサーチ・フェ ロー	ミャンマー	千葉大学文学部	2007.06.09 ~ 2008.06.08	第二次世界大戦中における日本・ミャンマー関係
4	CHEN, Yuping	中国国家労働与 社会保障部国際 劳工研究所 副主任	中国	独立行政法人 労働政策研究・ 研修機構	2007.08.01 ~ 2008.04.30	日本の労働紛争解決システム
5	SONG, Zaixin	四川大学外国語 学院日本語科 教授	中国	東京大学大学院 人文社会系研究 科	2007.08.01 ~ 2008.05.31	日本古代文化特質の形成の研究—古代和歌における四季 と恋との関係を中心に
6	TEEHANKEE, Julio Cabral	デ・ラ・サール 大学政治学部 学部長	フィリピン	東京大学大学院 法学政治学研究 科	2007.08.15 ~ 2008.06.14	憲法における継続性と変容 日比比較研究
7	WU, Haihang	北京師範大学法 学院 助教授	中国	首都大学東京 都市教養学部	2007.08.20 ~ 2008.08.19	東京都・北京市における少年犯罪の予防対策の比較研究
8	CHOI, Wan Kyu	慶南大学校北韓 大学院大学校 大学院長/教授	韓国	慶応義塾大学法 学部	2007.09.01 ~ 2008.06.30	北朝鮮の体制変換に対する韓国と日本の研究動向の比較 分析
9	LEE, Geun	ソウル大学校外 交学科 准教授	韓国	政策研究大学院 大学	2007.09.20 ~ 2008.07.19	ソフトパワーの理論化：日本の場合
10	SETISARN, Chomna rd	チュラーロン コーン大学文学 部東洋言語学科 日本語講座 助教授	タイ	国立民族学博物 館民族社会研究 部	2007.09.29 ~ 2008.09.28	日本の家畜をめぐる民族と信仰

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
11	NGUYEN, Minh Van	ベトナム社会科学 学院人類学院	ベトナム	東京大学東洋文 化研究所	2007. 10. 02 ～ 2008. 10. 01	伝統的宗教振興からキリスト教及び新興宗教への変遷と その社会文化生活への影響—1945年～2006年における日 本・ベトナム間の比較研究
12	HARTLEY, Barbara Toni	タスマニア大学 アジア言語・研 究学部	オーストラリア	北海道大学大学 院文学研究科	2007. 11. 01 ～ 2008. 07. 06	武田泰淳の文学：20世紀の日本における自己、他者そし て国家
13	XU, Jinlong	中国社会科学院 外国文学研究所 教授	中国	東京大学大学院 人文社会系研究 科	2007. 11. 17 ～ 2008. 09. 16	大江健三郎評伝
14	OKAYAMA, Emiko	シドニー大学日 本韓国文化研究 学科 博士課 程・非常勤講師	オーストラリア	名古屋大学大学 院国際開発研究 科	2007. 11. 29 ～ 2008. 05. 28	日本の芸術・文学・E-メディアにおけるテキストと イメージの関係
15	JEON, Jinho	光云大学日本学 科教授	韓国	防衛省防衛研究 所	2007. 12. 01 ～ 2008. 09. 30	21世紀の日米同盟と米韓同盟
16	LIU, Ping	中国社会科学院 文学研究所研究 員（教授）	中国	摂南大学外国語 学部	2007. 12. 15 ～ 2008. 10. 14	中国話劇に対する日本現代演劇の影響および日中文化 交流
17	JANG, In-Sung	ソウル大学校外 交学科教授	韓国	東京大学大学院 法学政治学研究 科	2007. 12. 16 ～ 2008. 08. 27	戦後日本の国際政治思想にみる普遍性と特殊性—理想 主義-現実主義論争を中心に
18	CHO, Yong Rea	国民日報論説委 員	韓国	慶應義塾大学商 学部	2008. 03. 01 ～ 2008. 12. 31	高齢人力活用政策の韓日比較：日本の経験の韓国への 適用可能性
19	MEHDI, Syed Sikander	カラチ大学国際 関係学科教授	パキスタン	立命館大学国際 平和ミュージア ム	2008. 03. 02 ～ 2009. 01. 01	パキスタンにおける平和記念館の設立—日本の平和記念 館との関連性について
20	LIM, Kim Hui	マレーシア国民 大学リサーチ フェロー	マレーシア	上智大学	2008. 03. 27 ～ 2009. 03. 26	日本とマレーシアの文化的規範に関する言説の比較 研究：日本人論とマレー人の精神性
21	YUN, Hyekyung	慶尙大学嬰幼兒 保育科 助教授	韓国	東京学芸大学	2008. 05. 10 ～ 2009. 03. 09	少子化社会において日本と韓国の保育政策の比較—子育 てを支援する新しいシステムの提案
22	BARKE, Andrew John	ヴィクトリア大 学ウェリントン 校アジア欧州言 語文化学部上級 講師	ニュージーラン ド	東京外国語大学 留学生日本語教 育センター	2008. 05. 12 ～ 2009. 01. 10	日本語会話における丁寧表現と非丁寧表現

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
23	SUBANDI	国立スラバヤ大学言語芸術学部日本語学科日本語講師	インドネシア	名古屋大学大学院文学研究科	2008.06.08 ～ 2009.04.07	日本語の女性語に対する日本社会の評価
24	CHEN, Xiuwu	東北師範大学日本研究所助教授	中国	一橋大学社会学部	2008.06.08 ～ 2009.06.07	坂本龍馬の国家意識について
25	ATHAMBAWA, Azeez Abdul	コロンボ大学経営学部 上級講師	スリランカ	早稲田大学	2008.06.23 ～ 2009.04.22	スリランカにおける日本の外国直接投資：アメリカと日本の外国直接投資の影響の比較
26	SEONG, Seunghyeon	全南大学校法科大学教授	韓国	京都大学大学院法学研究科	2008.07.01 ～ 2009.01.31	積極的契約侵害論と債務不履行類型論に関する比較法史的再検討
27	LEE, Eugene	淑明女子大学校政治外交学科教授	韓国	慶応義塾大学法学部	2008.07.07 ～ 2009.03.06	移住外国人社会統合韓日比較研究：多文化社会の可能性
28	WOLFF, Leon Thomas	ニューサウスウェールズ大学准教授	オーストラリア	立命館大学	2008.07.21 ～ 2009.03.20	法的観点から見た終身雇用制度の変化の見通し
29	LAWANDA, Ike Iswary	インドネシア大学人文学部情報・図書館学科講師	インドネシア	東北大学大学院文学研究科	2008.08.01 ～ 2008.09.30	グローバリゼーション時代における日本企業の創業者崇拜：企業文化の象徴としての創業者信仰
30	ZHOU, Yongsheng	外交学院大学国際関係研究所教授	中国	政策研究大学院大学	2008.08.05 ～ 2009.06.04	日本のソフトパワーに関する研究
31	TRINIDAD, Dennis D.	デ・ラ・サール大学国際関係学部准教授	フィリピン	立命館アジア太平洋大学	2008.09.01 ～ 2009.06.29	日本と東南アジアの統合
32	KIM, Jung-rye	全南大学校人文学部日語日文学科 教授	韓国	京都大学大学院人間・環境学研究科	2008.10.01 ～ 2009.05.30	韓・日定型詩歌における「笑い」の研究
33	ATSUTI, Meta Sekar Puji	ハサヌディン大学日本文化研究所 日本語講師	インドネシア	慶應義塾大学経済学部	2008.10.09 ～ 2009.03.10	1942年以前における日本・蘭領東インド（インドネシア）関係

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
34	TECHAKANONT, Kriengkrai	タマサート大学 経済学部 助教授	タイ	広島大学	2008.10.27 ~ 2009.05.26	タイ自動車産業の製造技術発展に果たす日本企業の役割
35	SUN, Jing	デンバー大学政治学部 助教授	中国	早稲田大学国際教養学部	2008.11.24 ~ 2009.04.15	魅力の競り合う一国際競争における中国と日本の新しい対策
36	PARK, Young-goo	釜山外国語大学 校商経大学経済学科教授	韓国	拓殖大学	2009.01.07 ~ 2009.11.06	日本と韓国の重化学工業化比較研究
37	STAVROS, Matthew	シドニー大学日本研究学科 助教授	オーストラリア	東京大学史料編纂所	2009.01.11 ~ 2009.06.10	前近代京都の空間構造史-中世を中心に-
38	KIM, Hosup	中央大学校社会科学大学国際関係学科 教授	韓国	慶應義塾大学法学部	2009.01.12 ~ 2009.11.11	日本の対中国ODAの政策決定
39	JANG, Yong Geoll	慶南大学校師範大学日本語教育科 副教授	韓国	大阪大学大学院人間科学研究科	2009.01.13 ~ 2009.11.12	日本における韓国ポピュラー文化の受容と変容についての考察

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ (論文執筆者) [アジア・大洋州]

人文・社会科学の研究者で博士論文作成のため来日する必要があるものを招へいする。

合計額 59,754,697 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	PARK, Doyoung	イリノイ大学歴史学部博士課程	韓国	東京大学大学院法学政治学研究科	2007.09.15 ~ 2008.09.14	儒学転換：徳川初期の禅僧と儒学
2	HO, Chiew Hui	スタンフォード大学宗教学科博士課程	シンガポール	東京大学大学院人文社会系研究科・文学部	2007.09.25 ~ 2008.09.24	安然-台密の系統化
3	DU, Yang	北京大学外国語学院日本語文化学部日本文化研究室博士課程	中国	東京大学大学院人文社会系研究科	2007.10.02 ~ 2008.10.01	上田秋成思想研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
4	ZHUANG, Na	北京大学国際関係学院博士課程	中国	成蹊大学法学部	2007.10.02 ～ 2008.10.01	日本の国体論
5	LIU, Fang Liang	山東大学文学与新聞伝播学院博士課程	中国	成蹊大学文学部 日本文学科	2007.10.04 ～ 2008.08.03	受容と変容—日本江戸漢詩と明代の詩学の関係についての研究
6	GU, Hongyan	シドニー大学芸術社会科学学部政治・国際関係学科 博士課程	中国	名古屋大学大学院環境学研究科	2007.11.01 ～ 2008.05.31	継続的な協働型アドボカシーを目指して—中国と日本において政府と環境非政府組織の関係についての比較研究
7	RYU, Yongwook	ハーバード大学政治学部 博士課程	ニュージーランド	慶應義塾大学法学部政治学科	2007.11.01 ～ 2008.08.31	国家アイデンティティと領土紛争の過熱化：日本のアイデンティティの変容が東北アジアの領土紛争に与える影響
8	FULORIA, Deepika	ジャワハルラル・ネルー大学東アジア研究センター 研究員	インド	愛媛大学法文学部	2008.02.19 ～ 2009.02.18	東アジアの発展：1990年-2005年の日中関係の変遷を事例として
9	YOON, Jee-Young	延世大学大学院地域学科 博士課程	韓国	東京大学大学院総合文化研究科	2008.03.16 ～ 2009.03.15	近代日本の「国家」認識—1868～1945—
10	CHANDRA SETH, Janashruti	ジャワハルラル・ネルー大学 助教授	インド	大阪大学大学院言語文化研究科	2008.06.01 ～ 2009.05.31	丁寧さの曖昧表現—日本とヒンディーにおける控えめなほめ言葉の類型研究
11	CATALINAC, Amy Louise	ハーバード大学政治学部 博士課程	ニュージーランド	東京大学社会科学研究所	2008.06.27 ～ 2009.06.28	外交・防衛政策の選挙政治：自衛隊の役割・任務拡大を説明する
12	LEE, Jun Kyu	慶南大学校北韓大学院大学校 博士課程	韓国	明治学院大学国際学部	2008.07.07 ～ 2009.07.06	脱冷戦期日朝関係に関する研究：正体性と利益の相互作用
13	SA, Rina	中国人民大学環境学院 博士課程	中国	名古屋大学	2008.07.31 ～ 2009.07.30	中国における循環経済の構築に向けたグッドガバナンスの研究
14	LI, Jiadong	上海大学大学院文学研究科中国近現代史専攻 博士課程	中国	中央大学総合政策学部・同大学院総合政策研究科	2008.08.01 ～ 2009.01.31	近代上海における日本人社会—文化事業を中心に

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
15	SHU, Fanghong	中国社会科学院 研究生院日本研 究科 博士課程	中国	法政大学国際日 本学研究所	2008.08.01 ~ 2009.07.31	戦後日本における平和主義思想の研究
16	KASIM, Zainol Abidin Bin	マラヤ大学予備 教育課程 (AAJ) 日本語講師	マレーシア	杏林大学外国語 学部	2008.08.26 ~ 2009.06.25	東方政策プログラムにおける自己アイデンティティの研究：マレー人と日本人の自己アイデンティティの比較研究
17	OH, Younjung	南カリフォルニア 大学美術史学 科 博士課程	韓国	東京大学人文社 会系研究科	2008.09.11 ~ 2009.09.10	日本の百貨店が近代的「美術」概念の認識に与えた影響
18	YU, Ying	オハイオ州立大 学東アジア言語 文学科 博士課 程	中国	国際日本文化研 究センター	2008.09.16 ~ 2009.09.15	1960年代及び1970年代の日本ファンタジー文学
19	XU, Lin	中国社会科学院 研究生院 博士 課程	中国	早稲田大学社会 科学総合学術院	2008.09.23 ~ 2009.09.22	行政権力の配分について——日本における経済規制改革の視点から
20	HAN, Dan	四川大学文学与 新聞学院 博士 課程	中国	国文学研究資料 館	2008.09.29 ~ 2009.09.28	『風姿花伝』研究—江戸時代文学理論への影響および『閑情偶寄』との比較
21	MANCHERI, Nabeel Ajmal	ジャワハルラル ネルー大学日本 研究学科 博士 課程	インド	広島大学	2008.10.02 ~ 2009.09.30	インド、日本、オーストラリア間の貿易と通商協定：優遇措置と競争力
22	GONG, Lili	復旦大学国際関 係公共政策学院 博士課程	中国	慶應義塾大学	2008.10.03 ~ 2009.10.02	日中戦略的互惠関係の構築—環境協力の観点から
23	CHO, Jung Yun	高陽市文化芸術 課 / 成均館大学 博士課程	韓国	社団法人全国公 立文化施設協会	2009.02.01 ~ 2009.11.30	地域文化財団の効率的運営管理方法：韓国と日本の地域文化財団の比較研究
24	PARK, Myunghee	梨花女子大学大 学院政治外交学 科 博士課程	韓国	慶應義塾大学大 学院 政策・メ ディア研究科	2009.03.01 ~ 2010.02.28	日本のODA政策過程とNGOの役割
25	HAMZAH Nusyirwan	インドネシア大 学大学院日本地 域研究科 職員	インドネシア	東京大学東洋文 化研究所	2009.03.22 ~ 2009.10.21	小泉純一郎首相 日本の政治リーダーシップの研究 2001-2006

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 日本研究フェローシップ (社会科学院研究生院)

中国社会科学院研究生院の博士課程在籍者に博士論文執筆のための日本研究フェローシップを供与する。

合計額 1,088,422 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	馮 維江	博士課程	中国	桜美林大学大学院国際学研究科	2007.05.31 ~ 2008.05.30	不完全契約理論による国際紛争解決構造研究-東シナ海における日中の領海紛争を事例として
2	周 傑	博士課程	中国	学習院大学法学部	2007.05.31 ~ 2008.05.30	日本の選挙制度改革

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (5) 日本研究フェローシップ (短期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 7,327,211 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	MAHAKHAN, Nanchaya	プーラーパー大学人文社会学部 講師	タイ	神戸大学大学院 人文学研究科	2008.06.08 ~ 2008.08.07	日本文化における「間」の意義
2	LI, Yan Nan	華南師範大学外国言語文化学院 副教授	中国	神戸女子大学文 学部	2008.06.20 ~ 2008.08.10	現代日本文学における「中国像」
3	KULSRISOMBAT, Niramon	チュラロンコン大学建築学部 都市・地域計画学科 講師	タイ		2008.10.06 ~ 2008.12.04	パートナーシップによる都心部再生： 日本の経験から学ぶ
4	GAVIN, Masako	ボンド大学人文科学部 助教授	オーストラリア	早稲田大学文学 学術院	2008.11.23 ~ 2008.12.22	グローバルな日本を目指して：安部 磯雄の思想と生涯
5	PATCHELL, Gerald Roe	香港科学技術大学社会科学学部 准教授	中国		2008.12.05 ~ 2009.01.30	産業生態系の地理的制限
6	SIAMPUKDEE, Usamard	チェンマイ大学政治行政学部 講師	タイ		2009.01.25 ~ 2009.03.25	外国人ケアワーカーと日本の高齢化危 機：政策の変化とASEANとの経済連携 協定
7	TIAN, Ming	中国外交学院 外国語学部 副教授	中国	跡見学園女子大 学	2009.03.28 ~ 2009.05.26	大庭みな子研究 — 60年代の初期作品 から80年代の後期作品における「家 族」のモチーフ及びその変容について

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (6) 日本研究フェローシップ (高砂熱学工業)

インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムの日本研究専攻の学生に奨学金を供与する。

合計額 4,070,630 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	HANDAYANI, Christina Siwi	サナタ・ダーマ大学 講師	インドネシア	京都大学	2007.08.01 ~ 2008.05.30	消費を通じた自己の存在：東方の文化-日本（京都）とインドネシア（ジョグジャカルタ）における若者の自己叙述における対話アプローチ
2	NGUYEN, Luong Hai Khoi	ホーチミン市教育大学 文学・言語科 教師	ベトナム	日本大学文理学部 哲学科	2008.06.01 ~ 2009.05.31	ベトナム人作家ゲェントウンの美意識との比較にみる川端康成の美意識

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (7) 知的リーダー交流 (招へい) [アジア・大洋州]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 19,932,950 円

	事業名	氏名	現職	対象国	期間	事業内容
1	アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム	KIM, Hae Chang	希望製作所 副所長	韓国	2008.05.01 ~ 2009.03.25	日本を含むアジア諸国において社会的影響力の大きい知識人（パブリック・インテレクチュアルズ）7名を、2カ月間日本に招へい。セミナー、ワークショップ、地方視察などの知的共同作業を通して、アジア域内の人的ネットワーク形成を図るとともに、地域が直面する様々な課題に対する共通の問題意識を醸成し、解決に取組むための知的基盤作りを促進。
		GU, Yi An	上海戯劇学院演劇部門 役者・演出家・教授	中国		
		LEE, Soo Im	龍谷大学経営学部 教授	日本		
		ACHAKULWISUT, Atiya	バンコク・ポスト オピニオン欄編集者	タイ		
		GASCON, Jose Luis Martin C.	LIBERTAS（自由のための弁護士同盟） 会長	フィリピン		
		SHARMA, Jyotrimaya	ハイデラバード大学 政治学教授	インド		
		LAL, Chandra Kishour	コラムニスト、コメンテーター	ネパール		

2. 人物交流事業費 / (8) 知的リーダー交流 (派遣) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の知的対話の促進と、知的リーダー間のネットワークの構築・強化を推進するため、日本から知的リーダーを海外に派遣し、関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 1,209,810 円

	事業名	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	事業内容
1	核不拡散・核軍縮に関する国際委員会	阿部 信泰	財団法人日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター 所長	米国	核不拡散・核軍縮に関する国際委員会	2009.02.12 ~ 2009.02.22	2008年の日豪首脳会談を契機に設置された「核不拡散・核軍縮に関する国際委員会」の第2回会合に、本分野での国際施策に日本の立場を反映させるため専門家を派遣。

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (9) 知的交流フェローシップ (招へい) [アジア・大洋州]

日本において人文・社会科学分野の研究を行う諸外国の研究者にフェローシップを供与する。

合計額 8,218,095 円

	氏名	現職	対象国	受入機関	期間	研究テーマ
1	AHN, Byung-Jik	ソウル大学西洋史学科 教授	韓国	大阪大学大学院 言語文化研究科	2008.05.13 ~ 2008.08.26	平和のために思い返すこと：戦後日本における戦争と戦没者の記憶
2	HE, Guangwen	中国農業大学経済管理学院金融系主任教授	中国	農林中央金庫 総合研究所	2008.08.20 ~ 2008.09.19	日本の農家及び中小企業に対する金融サービスと中国への政策面での示唆
3	MYOE, Maung Aung	シンガポール国立大学アジア研究所 ポスト・ドクトラル・フェロー	シンガポール	国際大学	2008.10.01 ~ 2009.07.31	台頭する中国、「普通」化する日本、東南アジアの安全保障：ミャンマーへの影響
4	PABOTTINGI, Mochtar	インドネシア科学研究所政治学センター シニア・リサーチャー	インドネシア	東京大学大学院 総合文化研究科	2009.03.01 ~ 2010.02.28	日本における国家民主主義共生の展望-予備研究
5	XU, Shu	吉林省延吉市延辺歌舞団 監督	中国	日本舞踊振興財団	2009.03.21 ~ 2009.04.28	日本伝統舞踊研究

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議 (助成) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流を推進することを目的とした国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 49,662,134 円

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	国際共同報道を通じたコミュニティのエンパワーメント	世界コミュニティラジオ放送連盟日本協議会	アジア地域区分 困難	2008.04.01 ~ 2008.12.31	G8をはさんでおよそ10日間、世界のコミュニティ・ラジオと呼ばれる市民地域に根ざし、地域の課題解決のために活動する非営利放送局の関係者約20名（アジア・太平洋地域中心）を札幌等に招き、G8や関連イベント等を国内のジャーナリストらと共同で取材し、多言語で世界に報道する事業を実施
2	ソーシャルワークにおけるイスラム的思考の統合に向けて	フィリピン大学発展のための社会行動・研究財団	フィリピン	2008.04.01 ~ 2009.02.28	フィリピン・ムスリムの社会における周縁化という問題を背景に、イスラム文化・慣習に配慮したイスラム的な教義・精神に基づく社会福祉活動教育・カリキュラムを国内に導入するために、現状の把握や課題の発掘を行う会議を実施。2日間の国内会議を実施後、マレーシア、インドネシア、ブルネイから社会福祉関係者を招へいし、2日間の国際会議を実施
3	近代東アジア連帯論と東アジア国際理解教育	帝塚山学院大学国際理解研究所	アジア地域区分 困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日中韓の代表的な文化人が参加し、「東アジア連帯論の系譜」（対馬）と、「東アジア国際理解教育」（北京）をテーマに国際会議を実施
4	東アジア文学フォーラム	東アジア文学フォーラム日本委員会	アジア地域区分 困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日中韓の文学者が「東アジアの文学」をテーマに、2008年10月にソウルおよび春川にてシンポジウムを開催。シンポジウムの他に一般向けの作品朗読会や講演会、公開討論会なども実施
5	東アジアの自閉症児のための治療教育プログラム開発に関する国際共同研究	立命館大学	アジア地域区分 困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	自閉症児を中心とした発達障害児の治療教育に関し、東アジア地域の生活環境・文化・社会に適合した教育プログラムの開発をめざし、ベトナム・中国・日本の研究者や障害児教育関係者の研究交流を実施
6	セックスツーリズムに関する東南アジア会議	子供の保護・研究センター	インドネシア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	インドネシアのメダンにて、児童買春旅行をテーマに9名の講演者を迎えて国際会議を実施。行政（州政府、法務層、警察、観光局、入国管理局）、業界団体（ホテル・旅行業）、NGO、国際機関等の関係者約150名が参加

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
7	国際会議「高齢化社会におけるジェンダーとセクシュアリティ」	クイーンズランド大学	オーストラリア	2008.04.01 ~ 2009.03.31	高齢化社会における女性のジェンダーと性の問題を、日本の文学や芸術作品中での「女性の老い」の表象に着目し、検討。具体的には(1)映画『百合祭』の上映、監督講演、(2)国際会議「高齢化社会におけるジェンダーとセクシュアリティ」で構成され、2008年9月29日～10月1日にブリスベンのクイーンズランド大学で開催された「第9回アジア女性会議」(豪アジア研究学会主催)のパネルの一つとして実施
8	21世紀の日本の対中戦略について	財団法人世界平和研究所	アジア地域区分困難	2008.04.01 ~ 2009.03.31	日中両国の政治、経済、学術関係者が、今後20～30年の日中関係を外交、安全保障、経済・社会にわたる幅広い観点から検討し、提言としてまとめる国際会議を実施
9	日・韓次世代学術フォーラム ソウル大会	東西大学校	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	人文・社会科学分野における日韓両国及び中国の大学院生が東アジアに共通の関心事をテーマに採り上げ、研究発表と交流を行う学術大会の第5回目。第3回目以降の開催地は主管機関である東西大学日本研究センターの所在地(韓国・釜山)を離れ、今次大会はソウル大学(韓国・ソウル)で2008年6月に実施
10	外交文書公開に伴う日韓会談の国際比較研究	国民大学校	韓国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	国民大学校日本学研究所が2005年12月～08年11月に韓国学術振興財団の支援で「日韓会談外交文書公開に伴う基礎資料研究」を実施した成果を、日本側の「日韓会談外交文書研究グループ」と米・中の参加者各2名が、一般に広く発表する国際会議を2009年2月に実施。成果は単行本として出版。また、日韓会談に関わった主要人物の証言を聴取したオーラルヒストリーを作成・出版
11	中国の調和ある経済社会発展と中日韓協力に関するシンポジウム	中国社会科学院日本研究所	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	中国社会科学院日本研究所と九州大学アジア総合政策センター、韓国の東国大学日本研究所が共同で行なうシンポジウムの3回目。「医療・生命倫理」、「産業連携」、「高齢化社会」、「ポピュラーカルチャー」、「環境」といった比較的身近な5つの切り口から日中韓協力の可能性について議論する。2008年10月18日、19日の2日間にわたり中国・青島で開催。
12	21世紀における日・中哲学の可能性	香港教育学院	中国	2008.04.01 ~ 2009.03.31	西欧哲学の影響を受けながらも独自に発展した、日本の西田哲学(京都学派)と中国のNew Confucianismの比較検討を行う会議を開催。西田哲学は、欧米では広く研究されているが中国ではまだそれほど研究が進んでいないため、中国の哲学研究者に紹介する側面も持った。2008年12月13、14日の2日間、香港にて公開シンポジウムを開催。この会議に集まった学者により、国際日本哲学学会の設立についても協議

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
13	移住の時代、アジアの家族構造の変動と国家別政策比較のための国際学術交流	アジア女性学センター	韓国	2008.05.01 ~ 2008.10.30	90年代以降急激に増加したアジア女性たちの移住を通して見える家族構造および社会構造の変化をテーマに、アジア各国・地域（韓国、日本、中国、インドネシア、フィリピン、ベトナム、タイ、台湾）の研究者、NGO活動家、政策担当者を交えて議論する専門家ワークショップおよび国際シンポジウムを実施。問題を把握するとともに、アジア域内専門家・活動家のネットワーク化を目指す。2008年10月に梨花女子大学にて実施
14	東南アジアにおける高等教育に関する国際会議	東南アジア教育省連合/高等教育・開発センター	タイ	2008.05.01 ~ 2008.11.30	東南アジア諸国（主としてタイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン）における高等教育システムに共通の枠組みを構築し、域内の学位や人材の互換性、補完性を高めていくことを目指す会議。各国で準備会合を開催後、リソースパーソンとして日本、オーストラリア、ニュージーランドから開発教育に関する専門家を招へいし、政府関係者や国際関係機関を交えて10月にバンコクにて国際会議を開催
15	インドネシアの貧困層に対する社会経済制度の改革に関する国際セミナー	ジャンパー・ステート・ポリテクニク	インドネシア	2008.05.01 ~ 2008.12.31	2008年5月28日～29日にインドネシア・東ジャワのジェンベルにて、インドネシアの貧困層に対する小規模融資制度をテーマとする国際会議を実施
16	教員セミナー オーストラリアの大学教育における魅力ある日本文学教授法の開発	タスマニア大学	オーストラリア	2008.05.01 ~ 2009.01.31	オーストラリアの大学で、より魅力的な日本文学関連講義を実施するために、大学教員によるワークショップを2008年9月12～14日の3日間、タスマニア大学にて開催。古典～近代文学のみならず、現代文学・文化までを対象とし、かつ歴史・社会・文化など隣接学問分野との接続をも視野に入れたモデル授業・教材を開発
17	血液管理・HIV/AIDS問題に関する国際比較研究-シンポジウム&ワークショップ-	学習院女子大学	アジア地域区分 困難	2008.05.01 ~ 2009.03.01	中国でAIDS/HIV問題に取り組む研究者やNPO関係者、弁護士等を日本に招へい、中国における事例や課題の報告とともに、日本を中心にインドや南アフリカ、米国、カナダ等での取り組みや経験を共有することにより、中国における血液管理やAIDS関連の法整備と制度建設、感染者支援に役立てる。2008年11月に2日間のシンポジウムと2日間のワークショップを実施
18	高齢者の保護促進のための年金制度導入に関する研修・ワークショップ	ヘルプ・エイジ・インターナショナル	タイ	2008.05.01 ~ 2009.03.31	東南アジア・南アジア諸国6カ国の高齢者問題に携わる行政担当者18名を対象に、タイ、日本、インド、南アフリカからリソースパーソンを迎えて、アジアの社会文化に適した社会保障制度導入に関する理論・実務に関する5日間の研修をチェンマイにて実施。6日目には、タイの学識者や専門家を交え、タイにおける社会保障制度をケーススタディとして議論を行うワークショップを開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
19	アジア太平洋におけるグローバル化の影響	ボンド大学	オーストラリア	2008.07.01 ~ 2008.12.31	2008年9月26日・27日の2日間、豪・クィーンズランド州のボンド大学にて「グローバル化はアジア・大洋州地域をいかにかたちづくるか：多様な学問分野からの分析」と題して国際会議を実施。グローバル化のうち、経済・金融・貿易などの制度変革が各国の産業・労働市場・法制度、国際関係、安全保障などに与えた影響について議論
20	東アジア環境食料エネルギー共同体を創る-非伝統的安全保障共通政策の形成と日本の役割	国際アジア共同体学会	アジア地域区分困難	2008.08.01 ~ 2009.03.31	食料・エネルギー危機、気候変動や砂漠化、SARSや鳥インフルエンザなど、非伝統的安全保障領域における東アジア域内共通リスクの増大に対して、アセアン諸国と日中韓3国が構想する解決策やその制度化への道筋について、環境、食料、エネルギーの3分野を軸に、研究者と実務家が議論する国際会議を実施
21	現代イスラム研究における日本の貢献-井筒俊彦の功績	イスラム国際大学イスラム教義・人間科学部	マレーシア	2008.08.05 ~ 2008.08.07	日本のイスラム研究のパイオニアである井筒俊彦の業績に焦点をあて、日本、米国、マレーシアのイスラム研究者が、井筒氏の業績や今日的意味に焦点をあてた論文発表を行いながら、日本と諸外国のイスラム研究者の交流を深化させることを目的とする国際会議。マレーシア国内からも研究者、外交官、NGO、宗教団体、学生、メディアなどから200名が参加し、8月5-7日の3日間、助成機関にて実施。
22	マレーシア国際法シンポジウム-アジアにおける国際法と外交政策の適用に関する再評価	マラヤ大学法学部	マレーシア	2008.08.07 ~ 2008.08.08	アジアでは、国際法の整備と国内適用が遅れていることから解決をみない問題が多い事情に鑑み、実効性のある法という側面から諸課題解決を推進すべく、アジア14カ国から約20名の国際法の専門家、弁護士、外交官らが集まり、国際法の適用状況や阻害要因について議論し、日本の経験・政策から学ぶ2日間の国際会議を実施。8月7-8日クアラルンプールにて実施
23	第4回 東アジア環境市民会議	東アジア環境情報発信所	アジア地域区分困難	2008.10.10 ~ 2008.10.14	北東アジアにおける環境問題、特に中国の河川・水質汚染が水俣病の公害経験に酷似して進行している現状に鑑み、日中韓の環境NGO、研究者、市民団体が集まり、日本における公害経験に学びながら予防策と対策を検討し、具体的な協力の推進にむけて討議する国際会議・視察事業を実施
24	メコン流域における経済成長とコミュニティ創造	オークランド大学 ニュージーランド・アジア研究所	ニュージーランド	2008.10.17 ~ 2008.10.19	ラオス・ルアンプラバンのスパノボン大学にて「メコン流域における経済成長とコミュニティ創造」をテーマに国際会議を実施。会議に先立ち、メコン流域内の経済開発や灌漑が地域の信頼醸成や共同体意識にどのような影響を与えているかの事例研究を行い、その成果を会議で発表。その上で学術的な成果物を書籍として刊行

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
25	報道写真に関する国際シンポジウム	パキスタン・日本文化協会（シンド）	パキスタン	2008. 11. 06 ～ 2008. 11. 12	報道写真家の社会的地位、認知度を高めることを目的とする国際会議及び展示会を実施。南アジア地域協力連合（SAARC）諸国および日本から報道写真家が参加
26	東アジア協力フォーラム 2008 中国の改革開放と東アジア：回顧と展望	中国人民大学東アジア研究センター	中国	2008. 11. 29 ～ 2008. 11. 30	2005年以来東アジア各国の協力のあり方に取り組んできた東アジア協力フォーラムの4回目。中国の改革開放30周年にあたることを受けて中国の改革開放と東アジアの協力についての回顧と展望を行った。中国、日本、アメリカ、韓国、モンゴル、ロシア、アセアン諸国の学者80名が参加。2008年11月29日、30日の2日間にわたって北京にて開催

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流を推進することを目的とした国際的な知的共同事業（国際会議等）に対し、経費の一部を助成する。

合計額 37,959,923 円

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
1	ミンダナオ伝統文化記録プロジェクト	ミンダナオ文化芸術センター	フィリピン	2008. 07. 01 ～ 2009. 03. 31	フィリピン・ミンダナオ地方のマギンダナオ族が伝承する祖先との交霊儀礼「イパット」を映像で記録すると同時に、学術比較研究のため関連調査を実施
2	アジアにおける日米同盟－課題と展望	Observer Research Foundation	インド	2008. 07. 24 ～ 2008. 07. 29	大阪大学大学院国際公共政策研究科のロバート・エルドリッジ准教授を招へいし、インド国内の研究者を対象に、日米同盟とそのアジア諸国への影響、および今後の課題と展望をテーマにセミナーを実施
3	第18回世界翻訳大会	清華大学外国語学部	中国	2008. 08. 04 ～ 2008. 08. 07	上海で開かれる第18回世界翻訳者連盟大会で日本と中国の翻訳者・研究者を招き、日中間の翻訳について多様な角度から分析・討論するワークショップを開催。大衆文学の翻訳から日中間の文化交流を捉える試み
4	アチェの児童による文化祭	Kommunitas Tikar Pandan	インドネシア	2008. 08. 16 ～ 2008. 08. 20	国際交流基金では、文化・芸術による紛争地の復興支援事業として、紛争被害の経験を持つ中学生・高校生を対象とした「アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ」を2007年4月に開催したが、そのフォローアップ事業として前回ワークショップに参加した生徒を再び集め、2008年8月に「アチェ子ども会議」を開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
5	アジアの民間伝承：平和への道	国際民間芸術機関フィリピン支部	フィリピン	2008.10.01 ～ 2009.03.31	アジア各国の文化人類学、民族学、民俗学、民族音楽学の専門家、またそのドキュメンターなどが一堂に会し、各国・地域の民間伝承の歴史やアイデンティティ形成との関連性を検討しながら、民間伝承に表現されている平和のメッセージを共有し、調和と平和を基調とする市民社会形成の端緒とする国際会議を実施
6	研究会議「日本近代の形成」	シドニー大学言語・文化学部日本研究学科	オーストラリア	2008.10.01 ～ 2009.07.31	1920-50年代に都市インテリ層を読者とした雑誌「新青年」について思想・文学・ジェンダーの観点から検討を行った。研究者によるワークショップの後、概要を英文学術書として出版
7	インド経営学院ラクナウ校	インド経営大学ラクナウ校	インド	2008.11.01 ～ 2009.03.31	東アジア（日本、中国、台湾、韓国）、タイ、シンガポール、オーストラリア、スウェーデン、インドの研究者を招き、欧米とは異なるアジア型のビジネスモデルについての国際会議を実施
8	韓日連帯21 2008年度ワークショップ	韓日・連帯21	韓国	2008.11.08 ～ 2008.11.10	「韓日・連帯21」は新たな日韓関係構築のために、両国ナショナリズムを超えての理解や対話が必要であると考える両国の有志によって2004年度より活動。今回は、これまでの試みに対して自ら点検を行うワークショップを行い、日韓の「戦後」を振り返り、ポストコロナリズムとジェンダーの視点から現状を分析し、日韓の和解のための思考と行動について考察を行った。
9	中国四川大地震復興訪日視察計画	中国四川大地震復興支援委員会兵庫神戸事務局	アジア地域区分困難	2008.12.14 ～ 2009.01.17	中国四川大地震の被災地から市・県レベルの地方行政トップ（市長・県長）および中国建設部、地震局などの中央政府関係者計160名が2回に分けて、日本の兵庫県、新潟県等の被災地を訪問し、震災復興の経験・ノウハウの交流、防災対策の学習・施設の視察などを行った
10	台湾における日本研究調査	早稲田大学台湾研究所	アジア地域区分困難	2008.12.01 ～ 2009.06.30	台湾の日本研究機関及び日本研究者に対しインタビューを行い、インタビューの結果に基づいて、台湾における日本研究の現状を分析する論文を執筆
11	第5回「北京-東京フォーラム」プレセミナー	特定非営利活動法人言論NPO	アジア地域区分困難	2009.01.01 ～ 2009.03.31	金融危機に対処するために、日中両国が協力する可能性及び具体的な方法論などについて日中両国の各分野の知識人が協議し、第5回北京-東京フォーラムの実施を準備
12	学際的視点から読む日本とASEANの関係	デ・ラ・サール大学日本研究センター	フィリピン	2009.01.01 ～ 2009.06.30	文学、文化研究、移民、自由貿易をキーワードに、日本とASEANが共有する現代の課題について、学際的かつ多角的に議論する国際会議を実施。日本からは、作家／翻訳家と、移民問題の専門家などが参加。

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	助成機関	対象国	期間	事業内容
13	日中社会起業家交流プロジェクト：被災地再建の過程での社会起業家の役割	グローバル・リンクス・イニシアティブ	中国	2009.01.13 ～ 2009.01.18	四川大震災の復興活動において、中国の民間組織、特に社会起業家の役割が期待されている。日本（特に関西地域）の経験を現場で学ぶために、2009年1月13日から18日まで中国の社会起業家ら関係者11名が大阪、神戸、京都、横浜、東京を訪問。日中の社会的企業の担い手が現場での経験と知恵を共有し、日中連携による社会的企業の育成を支援
14	変革期の北東アジアと日韓関係	慶應義塾大学東アジア研究所	日本	2009.02.04 ～ 2009.02.06	日韓両国の実務者や研究者が集まり、東アジア地域の緊急の課題である北朝鮮の非核化や国際金融危機に対する日韓の協力の方策について議論するシンポジウムを開催
15	世界における日本研究：変り行く日本研究のグローバル・プロフィール	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	2009.03.06 ～ 2009.03.08	日本研究の分野における海外の著名な学者、教育者を招き、日本研究者間の情報共有、ネットワーク形成に資する会議を実施。世界各国における日本研究の現状、世界における日本研究の普及を妨げる要因、外国で実施されている慣習的、また非慣習的な日本研究の手法、インドを含めた途上国における日本研究の普及、日本研究者間のグローバルネットワークの形成などについて議論
16	現代日本セミナー：現代に生きる口承伝統とその現代的意味	フィリピン大学国際研究センター	フィリピン	2009.03.12 ～ 2009.03.13	口承伝統について、特に東南アジアと日本の天女/天人伝説の比較とその現代的意味に焦点をあてて検証するワークショップ・会議
17	2008年度日本文学・日本文化招待講演	韓南大学校文科大学日本語日文学科	韓国	2009.03.16 ～ 2009.03.19	日本古典文学研究者の増田繁夫を招へいし、韓国大田広域市、全羅北道益山市の主要3大学で講演会を実施し、講演者と韓国の日本文学研究者間で、日本文学の現在の研究動向とともに、日本古典文学研究と日本文化研究との関連についての学術交流を実施

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 知的交流会議 (主催) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、世界の知的交流を推進することを目的とした国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 28,807,260 円

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
1	日中韓次世代リーダーフォーラム2008	中国 韓国	中華全国青年連合会 韓国国際交流財団	2008.07.10 ~ 2008.07.20	日中韓の次世代リーダー（政治家、行政官、ジャーナリスト、企業人、研究者等）計17名が各国の諸都市（南通、上海、東京、金沢、釜山、ソウル）で合宿を行いながら討論、専門家との意見交換、文化施設の見学や企業訪問等を行い信頼感を醸成
2	インドにおける日本研究促進事業「アジアにおける日米同盟：課題と展望」	インド	デリー大学 ジャワハルラール・ネルー大学	2008.07.28 2008.07.28	インド国内の研究者を対象に、日米同盟とそのアジアへの影響及び今後の課題と展望をテーマにセミナーをデリー大学、ネルー大学でそれぞれ実施
3	アチェの児童による文化祭	インドネシア	Kommunitas Tikar Pandan	2008.08.14 ~ 2008.08.22	文化・芸術による紛争地の復興支援事業として、紛争被害の経験を持つ中学生・高校生を対象に2007年4月に開催した「アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ」のフォローアップ事業。同ワークショップに参加した生徒を再び集め、2008年8月に開催した「アチェ子ども会議」に花崎攝（教育演劇専門家）を派遣
4	四川地震復興支援事業調査	中国	兵庫県立舞子高校環境防災科、神戸学院大学防災・社会貢献ユニット	2008.10.22 ~ 2008.10.29	兵庫県立舞子高校環境防災科と神戸学院大学防災・社会貢献ユニットの合同チーム（教員・学生計8名）が阪神淡路大震災の経験を携えて中国・四川大地震の被災地を訪問、被災者を励ますとともに現地の状況を調査
5	日中韓文化交流フォーラム	韓国	韓日文化交流会議	2008.11.26 ~ 2008.11.28	東北アジア地域で、民間主導の文化交流を積極的に展開・支援し、この地域の共同繁栄と発展に寄与することを目的とする会議の第4回目。本年度は、韓日文化交流会議が韓国・済州島にて主催、国際交流基金が日本側事務局として共催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	共催機関	期間	事業内容
6	四川地震復興支援調査報告会	アジア地域区分困難	兵庫県立舞子高校環境防災科、神戸学院大学防災・社会貢献ユニット	2009. 01. 24 2009. 02. 28	文化交流による災害復興への貢献の一環として、2008年10月に中国・四川大地震の被災地に派遣した兵庫県立舞子高校環境防災科および神戸学院大学防災・社会貢献ユニットの合同チーム（教員・学生計8名）による帰国報告会を実施
7	中国人研究者グループ招へい	アジア地域区分困難		2009. 02. 15 ～ 2009. 02. 22	中国の各分野の中堅研究者・知識人8名をグループで約1週間日本へ招へい。日本の社会と文化を理解してもらい、日中協力ネットワークの基礎を構築
8	社会的企業に関する日韓会議	アジア地域区分困難		2009. 03. 01 ～ 2009. 03. 31	日韓両国の社会的企業（社会的な目的のために事業を行う非営利企業）の専門家・実践者による専門家会議と公開シンポジウム。日韓の社会的企業をとりまく状況の相違点と類似点を認識したうえで、社会的企業の発展に向けた日韓双方、あるいは共同での取り組みのあり方を報告・提言化する2年継続事業
9	日中科学フォーラム「2008四川大地震と自然災害防災」	中国	日本学術振興会 中国地震局	2009. 03. 09 ～ 2009. 03. 10	2008年5月に発生した四川大地震を契機に「地震学的・地質学的特徴」、「構造物被害および斜面崩壊と復旧」、「被災地社会の復旧・復興」等の分野で研究実績を有する日中の研究者が集まり最新の成果を報告するとともに、中長期的観点から今後の共同研究の方向を議論するフォーラムへ日本人研究者、専門家を派遣
10	中国人研究者個人招へい	アジア地域区分困難		2009. 03. 18 ～ 2009. 03. 31	中国の各分野の指導的な研究者・知識人5名を1カ月から半年までの期間日本に招へい。日本滞在を通じて、等身大の日本を理解してもらい、日中学術交流のネットワークを構築

3. 催し等事業費 / (4) アジア地域研究センター支援 (催し等)

東南アジア諸国における東南アジア研究の促進と各機関の学術ネットワークの構築を目的として、東南アジアの研究者を支援する助成プログラムの運営と、東南アジア研究の基盤強化事業を実施する。

合計額 19,313,428 円

	事業名	期間	事業内容
1	東南アジア研究地域交流プログラム	2008.04.01 ~ 2009.03.31	東南アジア人による東南アジア研究を促進するため、国際交流基金とトヨタ財団とが共同でSEASREP財団（本部：マニラ）に対して支援を実施している。 東南アジア研究者間の相互理解の促進とネットワーク構築を支援することにより、東南アジア地域における東南アジア研究を推進。

アジア・大洋州交流事業費

4. 文化資料事業費 / (1) 図書寄贈 [アジア・大洋州]

海外の日本研究・教育機関の図書館及び大規模公共図書館に対し、日本関係図書を寄贈する。

合計額 609,906 円

	事業名	対象国	対象機関	部数	期間	事業内容
1	渡辺健基金記念 図書寄贈	中国	天津社会科学院	195	2008.04.01 ~ 2009.03.31	渡辺健基金の運用益にて、中国天津の社会科学院に対して日本研究関連図書を寄贈